

訓練カリキュラム

訓練実施機関名： 学校法人 熊本YMCA学園

| 科目 | | 科目の内容 | | | 訓練時間 |
|------------|--|---|----------|----------|-------------|
| 訓練内容 | 開講式／修了式 | オリエンテーション、訓練概要説明(3H)、修了証交付(2H)、就職支援(3H)等 | | | |
| | ①職務の理解(知識) | 多様なサービスの理解、介護職の仕事内容や働く現場の理解 | | | 6 |
| | ②介護における尊厳の保持・自立支援(知識) | 人権と尊厳を支える介護、自立に向けた介護 | | | 9 |
| | ③介護の基本(知識) | 介護職の役割、専門性と他職種との連携、介護職の職業倫理、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護職の安全 | | | 6 |
| | ④介護・福祉サービスの理解と医療との連携(知識) | 介護保険制度、医療との連携とリハビリテーション、障害者自立支援制度およびその他の制度 | | | 9 |
| | ⑤介護におけるコミュニケーション技術(知識) | 挨拶、コミュニケーション方法、立ち振る舞い、言葉遣い | | | 6 |
| | ⑥老化の理解(知識) | 老化に伴うこころとからだの変化と日常、高齢者と健康 | | | 9 |
| | ⑦認知症の理解(知識) | 認知症を取り巻く状況、医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理、認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活、家族への支援 | | | 6 |
| | ⑧障害の理解(知識) | 生涯の基礎的理解、障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかり支援等の基礎的知識、家族の心理、かかり支援の理解 | | | 3 |
| | ⑨こころとからだのしくみと生活支援技術(知識) | 介護の基本的理解、介護に関するこころのしくみの基礎的理解、快適な居住環境整備と介護、介護に関するからだの仕組みの基礎的理解、終末期介護 | | | 11 |
| | ⑩振り返り(知識) | 就業への備えと研修修了後における継続的な研修、実習事前施設訪問、介護現場で実習するにあたっての実習指導、振り返り | | | 9 |
| | 修了評価 | 修了評価 | | | 1 |
| | 職業能力基礎研修 | 自己理解・仕事理解・職業意識・挨拶や返事・ビジネスマナー・接遇マナー他 | | | 24 |
| | パソコン基礎知識 | ビジネス文書の基本、ビジネス帳票の基本、データ整理 | | | 21 |
| | 安全衛生 | 防災、リスクマネジメントと一般安全衛生 | | | 3 |
| 実技 | ⑨こころとからだのしくみと生活支援技術(生活支援技術) | こころとからだのしくみと自立に向けた介護(整容・移動・移乗、食事、入浴、清潔保持、排泄、睡眠)、生活と家事にかかる演習 | | | 58 |
| | ⑨こころとからだのしくみと生活支援技術(生活支援技術演習) | 介護過程の基礎的理解、総合生活支援技術演習 | | | 13 |
| | ⑩振り返り(演習) | 実習施設の概要調査、実習の心構え、身だしなみ、グループワーク(計画、目標立案、記録の書き方)、振り返り | | | 10 |
| | パソコン演習 | コンピュータの基礎的理解、文字入力、文書作成、ケア記録の入力(使用ソフト;Word)、表やグラフの作成、バイタル管理(使用ソフト;Excel) | | | 63 |
| | <input type="checkbox"/> 職場体験 <input type="checkbox"/> 職業人講話 <input type="checkbox"/> 職場見学 <input type="checkbox"/> その他 | | | | |
| 企業実習 | | <input type="checkbox"/> 実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 実施する | | | 40 |
| 訓練時間総合計 | | 307時間 | 学科 123時間 | 実技 144時間 | 職場体験等 時間 |
| 受講者の負担する費用 | | 教科書代 10,000円 その他(交通費) 最大5,500円 | | | 合計 15,500 円 |
| 指導方法 | 訓練形態(個別指導・補講を除く) | <input checked="" type="checkbox"/> 全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する | | | |
| | 施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫 | 広い実習室がある。また複数の介護用品や福祉用具も利用できる。熊本YMCA学院ではグループワークも取り入れ、人間関係調整能力の向上も見込める。コンピュータ室はネット環境も充実しているため、求人検索もでき学習への活用ができる。 | | | |
| | 受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫 | 個人面談による受講状況の確認及び苦手分野のフォローアップ体制も構築できている。 | | | |